




## \* 計画無痛分娩 入院後のスケジュール \*

	入院日	翌日～出産まで	出産後
分娩に関する処置	医師の診察があります。 必要時、子宮頸管を広げる処置をします。	医師の診察があります。 医師の指示に従って陣痛誘発剤を開始します。	
麻酔に関する処置	手術着へ着替えます。緊急時に備えて点滴をします。 麻酔の管を入れますので手術室までスタッフと歩いていきます。 処置終了後はストレッチャーで移動します。 	陣痛の痛みが出現したらスタッフと相談しながら希望されたタイミングで麻酔を開始します。 もしくは医師の指示に従い開始します。	処置終了後に麻酔を中止します。 出産2時間後に麻酔の管を抜去します。
検査	適宜NST(胎児心拍モニタリング検査)をします。	出産までNST(胎児心拍モニタリング検査)を継続します。	
活動・安静度	病棟内歩行ができます。 <b>※歩行時は必ずナースコールをしてください。</b>	麻酔開始後は病室内で過ごします。 転倒リスクがあるため歩行時は必ずスタッフが付き添います。	出産2時間後までLDR※1で安静に過ごします。
食事・飲水	通常通り摂取ができます。		
清潔	麻酔の管が入ったらシャワーはできません。代わりにタオルで体拭きをします。		出産後翌日よりシャワーができます。
排泄	麻酔を開始するまでは一人でトイレ歩行ができます。	麻酔開始後はスタッフ付き添いのもとトイレ歩行ができます。 しかし、麻酔の影響で歩行が困難と判断した場合は、管で尿をとります。	出産2時間後の時にスタッフ付き添いのもと、 トイレ歩行をします。
経過観察	入院時に検温をします。 麻酔の管が入ったら適宜挿入部の観察をします。 	麻酔開始後は適宜、検温をします。 	出産2時間後まで検温をします。

計画外の場合は分娩進行に合わせて麻酔方法を選択し、痛みをコントロールします

\*化粧・コンタクトレンズ・ネイル・装飾品は外して来院してください

\*麻酔の管が入ったらシャワーはできないため、必要な方は入院前にシャワーをすませて来院してください

※1 LDRとは、陣痛(labor)分娩(Delivery)回復(Recovery)の略語で、陣痛室、分娩室、回復室が一体となったお部屋のことです